

九十九里コミュニティヘルスケア夏期セミナー2017 開催にあたり

ごあいさつ

九十九里コミュニティヘルスケア 夏期セミナー実行委員会
委員長 篠原靖志（さんむ医療センター 病院長）

今年度も8月25日26日の両日、城西国際大学を中心にここ九十九里地域でコミュニティヘルスケア夏期セミナーを開催することとなりました。

開催の準備に御尽力いただいた実行委員会の方々や学生スタッフの皆さん、その他関係各位に心から感謝申し上げます。当セミナーは、①地域の未来を支えるヘルスケア人材の育成 ②地域ヘルスケア人材の地域内外でのヒューマンネットワークの構築 ③地域ヘルスケア課題の共有とその解決策の考察などを目標としており、将来の日本の地域社会で活躍が期待される若者たちの素晴らしい学びの場となることを期して、毎年、夏期セミナー実行委員会では様々な企画を準備してまいりました。

さて今年は“こどもを育てるまちづくり”をメインテーマとし、高齢化問題に隠れがちではありますが、実はさらに深刻な問題である将来の日本社会の担い手不足に地域社会はいかに対応し解決すべきなのか、を参加される皆さんと学んでゆきたいと考えています。2日目の基調講演には東邦大学看護学部家族・生殖看護領域 教授 福島富士子先生をお招きして、“子産み、子育てから始まる健康な街づくり～ソーシャルキャピタルの醸成をめざして～”のご講演をいただきます。

参加される皆様には当地域でのフィールドワーク、ナイトセッション、グループワークなどを通して、おおいに語らい友情の輪を広げていただきたいと思います。医療系の学生さんのみならず、メインテーマに興味のある受講生の多数のご参加を心よりお待ちしております。